



たかずやの里通信

令和5年度 - 第1号 -

…発行日…

令和5年6月1日

…発行人…

児童養護施設 たかずやの里

伊那市東春近7000-8

TEL 0265-72-6456

FAX 0265-72-7607

ホームページ

QRコード ⇒



URL www.janis.or.jp/users/takazuya03/

子ども叱るな来た道だもの

随分と以前のこと、永六輔氏の著作「大往生」の中にある「子ども叱るな来た道だもの、年寄り叱るな行く道だもの」という言葉を友人から教えてもらった。

山本五十六が詠んだ和歌である「やってみせ 言って聞かせて させてみて 誉めてやらねば 人は動かじ」をなにかの機会に知った。

いずれも「なるほど」と思わせてくれる。人を育てる立場にとって示唆に富んだ言葉だと思う。子どもたちにできないことや分からないことがあっても経験不足や理解不足からのこと。自分の子どもの頃どれだけの事ができたのか。大人になっても同じ。

子どもらの言動に大人が「一喝」してその場を収めても叱られた側の心には理解されなかったことへのうっ憤がくすぶり続けていく場合がある。

子どもに注意すべきことがあれば「なぜ」そうしたのか思い違いをしていなかったか確かめなくてはならない。

目前の「結果」よりも時間をかけた関わりの末にお互いに理解を深め合うことに大切さがある。

今年4月、数年前に退所した子どもが久しぶりにたかずやの里に訪れて「あの時は本当に迷惑をかけてすみませんでした。」と言ってくれ、肩の荷が下りる思いがした。

施設長 菅 雄峰

ユニット増設検討中

たかずやの里が現在の地に移転して早や10年目。移転を機に8人の児童が一つのユニットで生活しています。40人の児童が一つ屋根で生活していた頃と比較すればプライバシーも守られ生活環境は大いに改善されました。

国は「より家庭的」にと1ユニット8人を6人以下にするように求めています。期限は令和7年3月まで。現状の定員をできるだけ維持するため、現在、隣地駐車場に2ユニットの増設を検討しています。



太鼓演奏会

今年度に入り、コロナで様々なイベントが中止されて以来初めての太鼓出演依頼をいただきました。4月15日に伊那ライオンズクラブの60周年記念イベント・4月30日にはメーデーでの太鼓出演の依頼をいただきました。太鼓クラブの子どもたちは、ほとんどの子がたかずやの里以外の場所で発表をしたことがありません。田楽座さんの指導もできるだけ入れてもらい、とにかく形になるように必死に練習をして、両日の発表を迎えました。初めての出演に緊張をしていましたが、一生懸命演奏することができました。

太鼓は個人だけでなく、一つの太鼓をみんなで叩くチームワークも必要になってきます。これからはもっと出演の機会が増えていくと思うので、場数を踏みつつ、今以上にまとまった良い音が出せるように練習を頑張っていきたいと思います！！



たかずやの日々

じゃがいも植え

今年のじゃがいも植えは男の子たちが自主的に応援団のようになって、「フー！フー！たかずや！」と元気な声から始まりました。

職員から植え方の説明を聞き、種いもをたくさん持つ子もいて子どもたちはやる気満々。素手で土を触ると、砂場の土とは違いフカフカしていて気持ち良いのか楽しそうでした。しっかり掘って一つずつ植えて土をかぶせると「できた」気持ちから笑顔いっぱいになっていました。



田植え

5月5日こどもの日に田植えを行いました。各ユニットに分かれて決められた場所の田植えを行ったのですが、子ども達と職員が一致団結したので、例年に比べると早く作業を終えることができました。植えたお米が元気に育って食べられる日を、子ども達も待ち遠しく思っています。

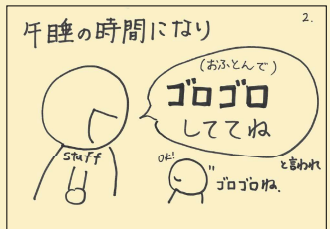
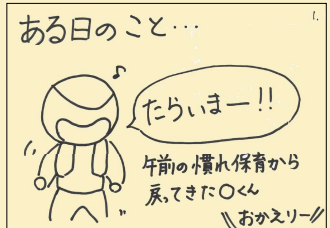


お花見

今年のお花見は、前日に雨が降ってしまったため、共同生活をしているユニットごとにお弁当を作り施設内で食べました。今年度に入った職員3名の自己紹介をしたり、レクレーションとしてビンゴをして盛り上がりました。



ほのぼのの4コマ5歳児



※午睡↓午後のお昼寝の時間

施設紹介動画をご覧ください。

QRコード ⇒



<https://takazuyanotosato.wixsite.com/recruit/施設紹介動画>

職員採用情報をご覧ください。

QRコード ⇒



<https://takazuyanotosato.wixsite.com/recruit>

多くの善意に感謝

児童養護施設は、国と県からの措置費という費用で運営をしています。必要最小限の費用のなかで運営を続けています。しかし、たかずやの里では、地元の皆さんから野菜・果物・お米、誕生月毎のケーキ、雑貨、児童書などが届きます。個人や団体の皆さんからの寄付金を子ども達の自立準備費用などに使わせていただいています。多くの皆さんの温かい心が子ども達の心身を育ててくれます。感謝の日々です。